



Medicine-Based Town

MBT

VOL. 10
February 2022

CONSORTIUM

医学を基礎とするまちづくり

特集

MBT難病克服キャンペーン

- 1) 協賛企業の募集
- 2) 難病克服支援WEBセミナー
- 3) MBT映画祭



開会を宣言する
細井裕司理事長

2022年1月8日に開催された難病克服支援「MBT映画祭」(於: 橿原文化会館)の表彰式後の記念撮影の様子(詳細は4~5頁参照)

特集 MBT 難病克服キャンペーン

MBTコンソーシアムは奈良医大と連携して、希少な疾患ゆえに社会から放置されがちな難病患者の苦境を多くの人に理解いただき、難病に関わる研究者や治療に携わる人々や組織を支援する啓発活動を中心に、「MBT難病克服キャンペーン」を重点活動として取り組んでいます。

その取り組みは、

- 1) 目的達成に、それぞれの立場で貢献していただける協賛企業の募集
(MBTコンソーシアムに対する費用負担等はありません)
- 2) 難病に関わる人々や、研究者・医療者の活動をお知らせするセミナーの開催
- 3) 「みんなで守るいのち」をテーマに視覚から訴求するMBT映画祭の開催

の3本柱で進めています。

1) 協賛企業の募集 ~キャンペーンを広くお知らせする社会貢献に参加しませんか~

本キャンペーンの最大の狙いは、希少な疾患ゆえに社会から放置されがちな難病患者の苦境を多くの人に理解いただく事です。そのため協賛活動に多くの企業に参加していただきたく、**協賛企業を募っています**。また、事務局は以下のような事例で、貴社の貢献しやすい協賛方法を相談させていただきます。

	個別販売の協賛商品	工事やサービス商品
個別の対応事例	<ul style="list-style-type: none"> 商品パッケージにロゴマークのシールを貼る又は印刷して商品を販売。加えてMBTコンソーシアムのQRコードも追加して協賛内容を紹介 商品のチラシ、パンフレットにロゴマークやQRコードを印刷して協賛内容を紹介 	<ul style="list-style-type: none"> 工事やサービス内容を記載した案内チラシ、ポスター等にロゴマーク、QRコードを印刷し、協賛内容を紹介 
共通の対応事例	<ul style="list-style-type: none"> 自社ホームページでMBT難病克服キャンペーンの協賛内容を紹介 種々のイベント実施時の案内(広告、チラシ、ポスター等)で協賛内容を紹介 新聞、WEBメディア、SNS、などに協賛内容をニュースリリース、バナー広告などで紹介 キャンペーンに協賛してMBTコンソーシアムへの寄付金で支援 	

◇MBTコンソーシアムは種々の機会に参加企業様の社会貢献をPRして参ります。以下はその一例です。



2021/10/23
産経新聞
朝刊社会面で広告

【協賛企業:16社(2022年1月時点)】

(株)三井住友銀行 (株)南都銀行 吉本興業(株) マクセル(株) クオール(株) (株)三笠 (一財)弘済会
大和リゾート(株)THE KASHIHARA レック(株) カルテック(株) (株)アイ・オー・データ機器 UHA味覚糖(株)
明晃化成工業(株) オーブ・テック(株) MBTリンク(株) オーニット(株)

2) 難病克服支援WEBセミナー

○第一回難病克服支援WEBセミナー

奈良医大とMBTコンソーシアムが連携して進める「MBT難病克服キャンペーン」の3本柱の1つ「難病克服支援WEBセミナー」が、2021年9月4日(土)14時よりWEBで開催されました。休日の午後にもかかわらず、医療関係者・患者会関係者・MBTコンソーシアム会員・一般市民が約320名、奈良医大の医学・看護学生が約70名、スタッフを含め約400名の参加がありました。



奈良医大大学長会議室で、杉江和馬教授が司会を行い、細井裕司理事長・学長、講師の井上治久教授、織田友理子代表はZOOMで参加。映像と音声はYouTubeでWEB配信

○第二回難病克服支援WEBセミナー(3月5日(土)15:00~16:30)

第二回は、介助犬により難病患者の自立と社会参加を助ける高柳友子氏と、難病の子どもと医療現場で向き合う医師の石黒久美子氏によるご講演をいただきます。

第一部	<p>『犬と共に笑顔になる 介助犬による自立と社会参加』</p> <p>高柳 友子 氏 (日本介助犬協会専務理事)</p>		第二部	<p>『病気と闘う子供たちが、 明日を楽しみに思える未来』</p> <p>石黒 久美子 氏 (東京女子医科大学小児科助教 小児神経科医)</p>	
------------	---	--	------------	--	--

Column **エム・ビー・ティ**

感染症教育

—正しい教育、間違った教育—

MBTコンソーシアム理事長 細井 裕司

正しい教育がなされていたらコロナの影響はもっと少なくていいのではないのでしょうか。そのことを考えさせられる例を以下に挙げます。

- 例1: レストランでテーブルの上面は消毒しているが、側面は消毒していない。
従業員は消毒の意味を教えられていず、上司から単にテーブルを消毒するように言われている。
- 例2: 「3密回避」のために5人以上で会食をしてはならない。
「4人ならいいんですね。」という質問が来る。
- 例3: 家庭内は「3密ではない」
「3密ではないのに」どうして感染が多いの？

感染防止の根幹である「3感染ルート(接触、飛沫、エアロゾル)遮断」を教えていれば、それぞれがその状況に応じて自己の判断で適切な行動をとることができたであろうと思います。誰かが言い出した「3密回避」を教育の基本としたことから、それぞれの人が本当の基本に立ち返って判断することができない状況に陥ったことは残念なことです。

3) MBT映画祭

初めて難病克服支援『MBT映画祭2021』を開催、200人超の観覧者 最優秀作品は山村もみ夫。氏の「バリアフルライフ」に栄冠!

希少な疾患ゆえに社会から放置されがちな難病患者の苦境を多くの人に理解いただく啓発活動の一環でMBT映画祭を企画し、運営委員会(委員長:川口昌彦奈良医大教授)を中心に2021年10月から全国に作品応募を呼びかけました。その結果、48本もの作品が集まり、その中から選ばれた10本の入賞作品を1月8日(土)奈良県橿原文化会館で上映し、最終審査を行いました。当日は200人を超える観覧者が参加しました。この日、趣旨に賛同された奈良県選出の国会議員の小林茂樹氏、前川清成氏、堀井巖氏、佐藤啓氏が来臨して祝辞を、また高市早苗氏および田野瀬太道氏の議員秘書も駆けつけ、更には奥野信亮氏、馬淵澄夫氏からも祝電が届き、国政レベルでも難病問題の関心の高さが印象づけられました。



上映に先立ち、主催者を代表して細井裕司理事長から、「本映画祭は初の試みでしたが、全国から“みんなで守るいのち”のテーマにふさわしい48本もの作品応募があり、本日の上映と最終審査を楽しみにしています」との挨拶があり、10本の作品が順次上映されました。

最終審査は、別室で映画監督の篠原哲雄氏、としおかたかお氏、西尾孔志氏、難病患者代表の織田友理子氏、奈良医大から難病診療拠点病院委員長の杉江和馬脳神経内科教授、医療安全推進室の辰巳満俊病院教授、看護部長の橋口智子氏が、それぞれの専門の視点から審査にあたってくださいました。

～最終審査結果～

最優秀賞 「バリアフルライフ」

山村もみ夫。監督

柴崎若葉は喫茶店で珈琲を飲みたい。ラジオと、差別と、住む世界と、若葉が喫茶店で珈琲を飲むまでのお話。



優秀賞 「文字盤の先に」

木寺智裕 監督

難病ALSにより寝たきりになった夫。仕事をしながら夫を介護する妻。夫婦の物語です。



特別賞 「パンにジャムをぬること」

瀬浪歌央 監督

聴覚障害を持つ友人の「障害者はいつも映画の中で頑張らされている」という言葉からこの映画は生まれました。



特別賞 「それでも、洗う」

寺谷千穂 監督

強迫性障害を持つ大介は、友人の譲からパフェを食べに行こうと誘われる。いざ店に着くと汚れが気になりパフェを食べるまでに辿りつけない…





コロナ感染対策は
万全を期して!



『MBT映画祭2021』スナップ写真

司会進行

受付



審査委員と川口昌彦運営委員長



篠原、としおか、西尾監督と入賞者のトークセッション



最優秀賞授与



優秀賞授与



特別賞授与

MBT活動トピックス

1. ベンチャー企業伴走支援とMBTベンチャー企業誕生

2021年7月のMBT微生物研究所株式会社の誕生後も、新たに2社の奈良医大発のベンチャー企業が誕生しました。MBTコンソーシアムは奈良医大の医学知識をもとに産業創生活動推進の立場から、30万円の出資を行い、ベンチャー企業の成長を後押ししていきます。2018年のMBTリンク(株)から始まり、奈良医大発ベンチャーは合計4社になりました。

MBT感染対策支援コンサルティング株式会社:2021年10月8日スタート



【代表】 感染症センター:笠原敬病院教授

- ①医療機関や福祉施設のほか、企業・自治体他各種団体が実施のイベントや事業などにおける感染対策の助言や現場での実地指導
 - ②感染対策のガイドライン作成の助言や監修
 - ③感染対策関係の商品に関するコンサルティング
- などを行う会社です。

株式会社MBT保健医療衛生研究開発機構:2022年1月4日スタート



【代表】 公衆衛生学講座:今村知明教授

- ①保健・医療・衛生政策立案に関する各種指標作成
 - ②データベース作成・調査研究・コンサルティング等の事業
 - ③医療機関の経営や運営についての事業支援
- を行う会社です。

奈良医大発
ベンチャー企業

No	起業日	社名	創業時代表者
1	2018.10.01	MBTリンク株式会社	梅田智広(MBT研究所研究教授)
2	2021.07.01	MBT微生物研究所株式会社	矢野寿一(微生物感染症学講座教授)
3	2021.10.08	MBT感染対策支援コンサルティング株式会社	笠原敬(感染症センター病院教授)
4	2022.01.04	株式会社MBT保健医療衛生研究開発機構	今村知明(公衆衛生学講座教授)

2. MBTコンソーシアム・奈良医大が経団連の連携パートナーに!

一般社団法人日本経済団体連合会(通称:経団連 会長十倉雅和(住友化学会長))は「地域協創アクションプログラム」とその連携先を2021年11月16日に公表しました。その10課題のうちの一つ”医療・育児・介護関連“のテーマで、MBTコンソーシアム・奈良医大が連携先として取り上げられました。

詳細は、下記URL又は、右記QRコードからご確認ください。

<https://www.keidanren.or.jp/policy/2021/105.html>



地域協創アクションプログラム (詳細版)	9. 医療・育児・介護・移動など健やかで快適な暮らしの基盤を協創する	
	提携先	内容・目標
 <p>2021年11月16日</p> <p>一般社団法人 日本経済団体連合会</p>	MBTコンソーシアム 奈良県立医科大学	<p>【MBTコンソーシアム・奈良県立医科大学】 医学を生かした地域産業創生や商品の開発とその拡大による産医連携の全国展開</p> <p>【経団連】 コンソーシアムの取り組みやイベントに関する周知、企業の紹介</p>

3. MBTロゴマーク表示商品が続々登場

2019年6月1日に「睡眠頭位調節マットレス(昭和西川(株))」がMBTロゴマークの第1号の許諾を受けて以来、2年強の間に計16社17商品がMBTロゴマーク許諾を受けてきました。そして、以下のような表示例で商品が市場で見受けられるようになってきています。

MBTロゴマークは、医学的に正しく、社会貢献が大きく期待できる商品やサービスに許諾されるものです。会員の皆様、奈良医大の医学知識を活用した商品開発を進め、社会貢献をPRしませんか。

MBTロゴマーク付 商品化企業名	MBTロゴマーク表示事例
グラストップ 株式会社	<p>「光触媒コーティング加工済」表示シール(鉄道車両など)</p>  <p>拡大</p> <p>MBTコンソーシアムは奈良県立医科大学と連携し、医学の知識を企業等に投入することによって、産業創生、地方創生、まちづくりに貢献する一般社団法人です。</p> 
UHA味覚糖 株式会社	<p>「柿渋のど飴」のパッケージ</p>  <p>拡大</p> <p>注記) カバヤ食品(株)、カンロ(株)、春日井製薬(株)、も同様にMBTロゴマーク付き商品を上市</p>
レック 株式会社	<p>「アルコールジェル消毒液」のパッケージ</p>  <p>拡大</p> <p>MBT MBTコンソーシアム レック株式会社はMBTコンソーシアムの社会貢献活動を支援しています。</p>
やまと真空工業 株式会社	<p>「銅合金蒸着」表示シール(飛沫防止用ポリカ仕切り板)</p>  <p>拡大</p> <p>MBT 本製品は、奈良県立医科大学・MBTコンソーシアムと共同開発の抗ウイルス素材を使用しています。 やまと真空工業株式会社</p> 

4. MBT書籍紹介



MBT なぜ単科の医大に 全業種から 200社が 集まったのか？

奈良県立医科大学 理事長・学長
細井 裕司

貴社の新ビジネスに
医学知識を投入しませんか？
奈良県立医科大学・MBTがお手伝いします。
MBT・Medicine-Based Town・医学を基礎とするまちづくり

三省堂書店/創英社

細井裕司理事長が新著「MBT なぜ単科の医大に全業種から200社が集まったのか？」を3月に出版！

細井裕司理事長は、8年前発行の書籍でMBTの概念と構想を提起し、状況変化に合わせて練り直しながら実践してこられました。今やMBT構想は、多くの奈良医大職員・学生やMBTコンソーシアム会員企業が共有する理念となり、いくつもの製品・サービス開発やまちづくりのプロジェクトが動くようになりました。

その道のりは試行錯誤の連続でしたが、失敗も含めてMBT構想の起源を発想した2004年ごろからの約18年間の軌跡を描き、地方の単科大学にいかに200社以上の企業が集まったか、について著したものです。このたび三省堂書店から2022年3月に発売されます。目次は以下のようになっています。一読をお勧めいたします。
新著は定価1,980円(税込)、全国の書店で購入ができます。

- 01 | MBTを構想するまで
- 02 | MBTコンソーシアムの誕生
- 03 | MBTによる製品づくり、まちづくり
- 04 | MBTで見守り、健康管理サービスを事業化
- 05 | MBTが生み出した製品やサービスが世の中に
- 06 | MBT構想で新型コロナウイルス感染症に立ち向かう
- 07 | 永く広い社会貢献を目指し、MBTは走り続ける

梅田智広研究教授(奈良医大MBT研究所)が新著「健康寿命を最大化する挑戦」を出版！

奈良医大発第1号のベンチャー企業「MBTリンク(株)」を2018年10月に設立した梅田智広研究教授は、この8年来、ITを活用してバイタルなどの生活情報や気象等の環境データを組み合わせることで地域住民の健康情報収集・分析実証実験を幅広く全国で行って来ました。その活動を通して蓄積した豊富なヘルスケアに関わる種々データや、現代医療の足りないところを埋める新たな技術を紹介し、今後の健康なまちづくり提案を満載した表題著書が、このたびMBTリンク(株)より2021年10月に発売されました。目次は以下のようになっています。一読をお勧めいたします。

新著は定価1,000円(税込)、MBTリンク(株)ホームページから申し込み・購入ができます。

URL: <https://www.mbtlink.com>



健康寿命を 最大化する挑戦

～日本が変わる、日本を変えるMBT構想～

奈良県立医科大学研究教授
梅田智広

MBT (Medicine-Based Town、医学を基礎とするまちづくり)
構想の実現・社会実装をミッションとする
MBTリンク社創業者の熱意が伝わる書です。



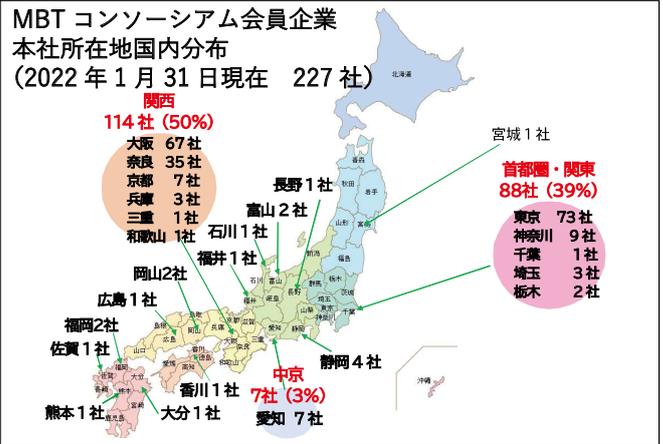
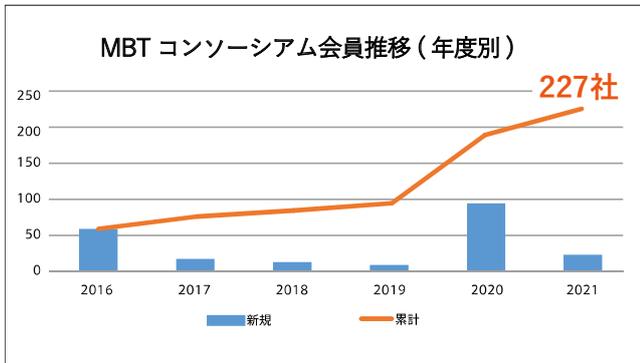
奈良県立医科大学 理事長・学長
MBTコンソーシアム理事長 細井裕司

- 序章 | 新型コロナウイルス感染症で改めてわかったリモート医療の重要性
- 第1章 | 現在の医療に足りないもの
- 第2章 | 「どこでも医療・いつでも医療」の時代
- 第3章 | 健康なまちづくりが日本の未来を変えていく
- 終章 | 世界に羽ばたく”日本発”の健康管理システム

MBT コンソーシアム情報：会員数の推移と本社所在地国内分布

MBT コンソーシアムは、2016年4月に57会員で発足、2017年～2019年は微増、2020年にはコロナ禍対策等の取り組みで一気に会員数を増やし、2022年1月31日現在で227社となりました。そして、会員企業の本社分布も東京74社、大阪68社をはじめ、24都府県に拡大し全国的な活動になってきております。

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021
累計	57	75	88	97	191	227



奈良県立医科大学と共に、医学を基礎とする安全、安心のまちづくりを通じて、社会に貢献する MBTコンソーシアム会員227企業・団体(業種別で記載)

(2022年1月31日現在)

業種別	MBTコンソーシアム会員	企業数
建設	株式会社イムラ、株式会社奥村組奈良支店、株式会社山工務店、株式会社キャンディル、株式会社きんでん奈良支店、株式会社グッドライフ、グリーンアーム株式会社、株式会社藤建築、株式会社崎山組、株式会社積水ハウス、大和ハウス工業株式会社、大和リース株式会社、株式会社藤建築事務所、株式会社尾組、松田電気工業株式会社、株式会社松田平田設計、株式会社ライフアートプランテック	17
食品	石井物産株式会社、江崎グリコ株式会社、株式会社MID、株式会社大阪王将、春日井製菓株式会社、カバヤ食品株式会社、カンロ株式会社、キリン株式会社、三和澱粉工業株式会社、株式会社バロックス、株式会社日田天領水、UHA味覚糖株式会社	12
繊維・パルプ・紙	株式会社イムラ封筒、株式会社サンロード、株式会社島田、株式会社新生、住江織物株式会社、株式会社高木包装、高橋練染株式会社、帝人フロンティア株式会社、東洋紡株式会社、株式会社Bonrich、日清紡ホールディングス株式会社、日本エレテックス株式会社、株式会社野崎染色、株式会社三笠、モード・ユニット工房株式会社、株式会社ワコール	16
化学	旭化成株式会社、株式会社ケミカル・テクノロジー、株式会社積水マテリアルソリューションズ株式会社、住友ベークライト株式会社、株式会社テクノーブル、ナスクナノテクノロジー株式会社、ナノソリューション株式会社、明晃化成工業株式会社、山本商事株式会社	9
医薬品	クオール株式会社、株式会社グランソール免疫研究所、佐藤薬品工業株式会社、新大和漢方株式会社、株式会社積水メディカル株式会社、中外製薬株式会社、株式会社ツムラ、日本ペーリンガーインゲルハイム株式会社、美商堂製薬株式会社、丸石製薬株式会社、ロート製薬株式会社	11
鉄鋼・非鉄・金属	東洋アルミニウム株式会社、(一社)日本銅センター、丸一鋼管株式会社、三菱マテリアル株式会社	4
機械	グローリー株式会社、KTX株式会社、株式会社タカゾノ、株式会社タトリ、DMG森精機株式会社、テクノグローバル株式会社、不二精機株式会社、三菱パワー環境ソリューション株式会社、ユニオンツール株式会社	9
電気機器	株式会社アイ・オー・データ機器、アイワ株式会社、株式会社アズマ、inQs株式会社、株式会社HBコーポレーション、株式会社AirLabo、株式会社エム・エイチ・シー、オーニット株式会社、応用電機株式会社、株式会社オーディオテクニカ、株式会社ニカフクイ、株式会社カルテック、株式会社コムテック、G-smatt Japan株式会社、シャープ株式会社、シャープディスプレイテクノロジー株式会社、株式会社タムラテコ、株式会社ドウエールアソシエイツ、株式会社日本トリム、日本捲線工業株式会社、パナソニック株式会社、富士通Japan株式会社、株式会社フジファインズ、マクセル株式会社、株式会社村田製作所	24
医療・精密機器	岩崎工業株式会社、エア・ウォーター株式会社、エンプラス株式会社、大研医器株式会社、キヤノンメディカルシステムズ株式会社、株式会社ケアコム、セイリン株式会社、セン特殊光源株式会社、テルモ株式会社、凸版印刷株式会社、奈良精工株式会社、ニプロ株式会社、株式会社フィリップス・ジャパン、フクダ産業株式会社、株式会社プロルート丸光、丸三製薬バイオテック株式会社	16
その他製造	あけぼの化成株式会社、株式会社ウイズユー、株式会社エアリッシュ、エクレール株式会社、株式会社MTG、株式会社オーク製作所、株式会社オーシャン、オープン・テック株式会社、落合ライト化学株式会社、カナシテックノサービス株式会社、株式会社キシマ、グラストップ株式会社、株式会社くろがね工作所、ケイミュー株式会社、株式会社サンクレスト、三友商事株式会社、株式会社J-STYLE、昭和西川株式会社、株式会社ゼノン、大光電機株式会社、ダイドレ物流株式会社、株式会社デルファイノケア、株式会社ハル・インダストリー、株式会社半導体エネルギー研究所、株式会社ピカッシュ、株式会社フジ医療器、株式会社ブチファーマシスト、株式会社マンダム、株式会社MONDOCOLO、やまと真空工業株式会社、株式会社REO研究所、永川消毒(ラフェスタリンク株式会社)、レック株式会社	33
商業	株式会社イマナカ、株式会社暁星ジャパン、ソアラ株式会社、BESTJAPAN株式会社、丸紅木材株式会社、株式会社ONE	6
金融・保険	アフラック生命保険株式会社、MS&ADインターリスク総研株式会社、損害保険ジャパン株式会社、東京海上日動火災保険株式会社奈良支社、株式会社南都銀行、日本生命保険(相)、株式会社三井住友銀行	7
不動産	株式会社PLEAST	1
運輸・倉庫	近鉄グループホールディングス株式会社	1
情報・通信	アイテック阪急阪神株式会社、株式会社NTTデータ経営研究所、近鉄ケーブルネットワーク株式会社、コニカミルタ株式会社、株式会社三技協、株式会社産経経済新聞社、Takusu株式会社、西日本電信電話株式会社奈良支店、日新ネットワークス株式会社、株式会社日本経済新聞社、株式会社ビクシーダストテクノロジーズ株式会社、株式会社プロアシスト、丸紅情報システム株式会社、株式会社三菱総合研究所	14
電力・ガス	大阪ガス株式会社、関西電力株式会社、株式会社関西エネジーソリューション、大和ガス株式会社、奈良電力株式会社	5
サービス	株式会社アデランス、株式会社アリエル、RFJ株式会社、ALSOX昇日セキュリティサービス株式会社、株式会社インデックスコンサルティング、株式会社SRA、(一社)観光品質認証協会、環境衛生薬品株式会社、北関東総合警備保障株式会社、株式会社Kirala、株式会社グローイング、株式会社健康都市デザイン研究所、(一財)弘済会、株式会社小山、(有)サンスバル、サンワテクノ株式会社、大和リゾート株式会社 THE KASHIHARA、株式会社ドクターネット、株式会社ドトルコーヒー、株式会社奈良ホテル、株式会社日経アドエージェンシー、ニューロンネットワーク株式会社、(同)force、株式会社プレス、ヘルスグリッド株式会社、明豊ファシリティワークス株式会社、株式会社メディカルノート、株式会社メディケアリンク株式会社、株式会社ライフビジネスウェザー、リーズンホワイ株式会社、株式会社レスコ、ロイヤルコントラクトサービス株式会社、株式会社ローソン奈良支店、ワタキューセイモア株式会社	34
公共・その他 (自治体、大学、病院等)	(医)梅華会、福原市、東急(株)東急病院、(一社)奈良経済産業協会、奈良県、奈良県立医科大学、奈良友誼会病院、個人会員1	8



一般社団法人 MBTコンソーシアム

〒634-8521

奈良県橿原市四条町840番地 奈良県立医科大学 研究推進課内

TEL : 0744-29-8853 FAX : 0742-90-1070 E-mail : mbt@mbt.or.jp

会員ご相談・お問い合わせ窓口：塩山忠夫



<http://mbt.or.jp>

2022年1月31日現在のものです